

柱1 みんなで守り寄り添う共生のまちづくり

ネットワーク構築による包括的相談支援や権利擁護体制，情報提供の充実を図り，誰もが互いに人格と個性を尊重し，支え合える共生のまちづくりを目指します。

施策 1

取組 1 相談支援・マネジメント体制の充実

目指す姿 身近な場所で気軽に相談できる体制の充実

【主な事業】 障害者相談支援・コーディネート事業

…地域で身近な相談窓口を確保するために，委託相談支援事業所の増加及び地域生活支援拠点機能の付加などを推進し，多様なニーズに対応。

事業の結果

■相談支援件数（件/年）

R2	R3	R4	R5
14,726	7,040	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

相談件数は概ね昨年と同様に推移。今年度すでに3回実施している委託相談支援事業者連携会議において，他機関との連携を議題として機能強化に取り組んでいる。

【主な事業】 地域生活支援拠点運営協議会の開催 ※柱2に再掲あり

…地域生活支援拠点の事業内容や地域づくりについて協議し，円滑かつ適正な推進について検討する。

評価等

◆評価：○

年度当初に所掌事務を地域課題の検討及び地域づくりなど，より具体的な内容に見直しを行った。相談支援体制の充実等，拠点の役割について継続して協議するとともに，災害時の拠点の役割についても議題とする。

【主な事業】 柏市自立支援協議会相談支援部会の運営支援

…柏市における相談支援体制のあり方を協議し，指定相談支援事業所のスキルアップを図る場である相談支援部会の運営を支援する。

評価等

◆評価：○

今年度はzoomを導入したことで予定どおり協議を重ねている。今後は，地域における相談支援の質の向上や体制強化を図るほか，長期的にプランの目標を達成するため，会議の運営方法を再検討する。

重点

取組 2 福祉の総合相談窓口の設置

目指す姿 「断らない」相談窓口の設置

**【主な事業】 教育福祉会館のリニューアルに伴う総合相談支援事業
包括的支援体制の構築事業**

…従来の枠組みでは支援が届かない障害者等を支援するため，各専門機関と行政の窓口が連携した「福祉の総合相談窓口」を設置し，包括的な相談支援体制を推進。

事業の結果

■福祉の総合相談窓口での相談件数(件/年)

R2	R3	R4	R5
517 (R3.1~3)	592	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

窓口では，こどもから高齢者まで幅広い属性から，多岐に渡る相談を受付。今後は総合相談窓口としてのコーディネート能力向上に加え，各専門相談支援機関の特徴を生かした包括的支援体制の構築を図る。

施策2

権利擁護体制の充実

目指す姿

- ・ 成年後見制度等の利用促進により、障害者の権利を守る
- ・ 障害者虐待の防止・早期発見に向けた体制の充実
- ・ 障害を理由とする差別のない社会

【主な事業】 成年後見一次相談窓口の設置

…より多くの方に成年後見制度を利用してもらうため、地域生活支援拠点及び地域包括支援センターが地域の身近な相談窓口として相談対応を実施する。

事業の結果

■ (福祉計画)

成年後見制度利用支援事業 (人/年)

R2	R3	R4	R5
22	11	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

R3.6に中核機関が設置され、一次相談窓口も運用を開始したことで、成年後見制度をより利用しやすい環境を実現。今後は周知を徹底するとともに、報酬費制度の利用促進に向け、規則等の見直しを行う。

【主な事業】 柏市における権利擁護を支援する体制の構築

…虐待や権利擁護に対応する関係機関等と課題共有し、問題解決に向けた対応を強化。

評価等

◆評価：○

柏市権利擁護ネットワーク会議（全体会）を1回実施した。今後は、各専門部会及び個別対応において、関係者等と情報共有を図り問題解決に向けた対応強化を図っていく。

【主な事業】 障害者差別解消支援地域協議会の開催

…協議会の開催により関係機関の連携を強化し、改善策の検討を行う。

評価等

◆評価：○

現在まで2回実施（年間3回予定）し、障害者の差別に関する事例や差別解消に向けた取組を検証。障害者差別解消法改正により、合理的配慮が民間企業でも義務となるため、関係機関と連携し、周知強化を図る。

施策3

情報提供の充実

目指す姿

- ・ 必要な情報をわかりやすく適切に提供
- ・ コミュニケーションに必要な支援を受けられる状態

【主な事業】 「障害福祉のしおり」の発行

…障害福祉関連の制度やサービスについてまとめた冊子を作成し、主に手帳交付時に内容の説明及び配布を行う。

評価等

◆評価：○

R3版発行にあたり、大幅に見直しを行い、視覚的に見やすい・わかりやすいものとなった。R3上半期時点で1,500冊発行。今後はさらなる情報提供の充実を図るため、ツイッターなど新たな方法を検討していく。

【主な事業】 手話通訳者・要約筆記者の派遣

…意思疎通を図ることに支障がある方に、通院や行政機関手続き時等に、手話通訳者等の派遣を行う。

事業の結果

■ (福祉計画) 派遣件数 (人/年)

区分	R2	R3	R4	R5
手話通訳	447	276	—	—
要約筆記	18	21	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

コロナの影響で減少していた件数が戻りつつあり、特にワクチン接種で派遣が必要な方に寄与できている。市外派遣の増加等、制度設計時とは異なる利用方法も生じており、提供方法の検討が必要。

柱1の課題

- ・ 障害福祉に係る相談支援機関の機能強化や各会議体の役割・運営方法の検証等を行った。今後は他機関との連携を行うことで、包括支援体制の構築を図っていく。
- ・ 成年後見制度に関する中核機関設置や各会議体を通じて関係機関との連携強化を行った。
- ・ わかりやすく情報を提供するため、しおりの見直しを実施。コロナ禍においても意思疎通支援は必要なため、現状に応じた提供方法の検討が必要。

柱2 みんなで支え安心して暮らせる共生のまちづくり

暮らしを支える基盤整備やサービスの充実、バリアフリー化や災害・感染症等の緊急時対応を図り、誰もが安心して暮らせる共生のまちづくりを目指します。

施策1

取組1 地域生活を支える場の充実

目指す姿 地域生活支援拠点と連携した地域ネットワークの充実

【主な事業】 地域生活支援拠点運営協議会の開催

…地域生活支援拠点の事業内容や地域づくりについて協議し、円滑かつ適正な推進について検討する。

■ 地域生活支援拠点運営協議会の開催回数(回)

R2	R3	R4	R5
1	1	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

年度当初に所掌事務を地域課題の検討及び地域づくりなど、より具体的な内容に見直しを行った。相談支援体制の充実等、拠点の役割について継続して協議するとともに、災害時の拠点の役割についても議題とする。

【主な事業】 包括的相談体制構築に向けた会議の開催

…複雑・複合化する相談の支援方針を多機関と協働で策定し、支援していくとともに、地域課題の抽出や社会資源の不足等の協議をとおして連携体制強化を目指していく。

評価等

◆評価：△

市内専門相談支援機関を一堂に集め、連携強化に向けた協議等を実施し、包括的支援体制強化を図った。今後は、同じような会議が乱立し、非効率とならないよう各専門相談支援機関が既存で実施している会議体を整理し、市全体での会議の適正化を進めていく。

重点

取組2 高齢障害・重度障害に対応した居住環境の整備

目指す姿 高齢障害者・重度障害者等に対応した基盤整備

【主な事業】 柏市立青和園の整備事業

…柏市立青和園を民営化することで施設のバリアフリー化、高齢化・重度化に対応できる施設の整備を行う。

評価等

◆評価：○

令和4年度から民営化を実施するにあたり、関係条例の改正及び民営化受託法人との協定の締結を行った。今後は、各種契約の締結及び施設整備に係る補助金の交付、民営化受託法人との定期的な情報交換の実施をしていく。

【主な事業】 共生型サービスの整備

…介護保険及び障害福祉両方のサービスを受けることができる共生型サービス事業所の整備について検討・推進する。

評価等

◆評価：△

既存の障害福祉サービス事業所をバリアフリー化等行うことで高齢者を受け入れることができるよう柏市施設改造補助金の活用を案内しているが実現に未だ至っていない。今後は、施設改造補助金の活用事例の公開や、共生型サービスの提供について促進していく。

暮らしを支える基盤整備

目指す姿 サービスの充実を図り、個々のニーズに対応した社会参加や自立を支援・促進

【主な事業】ホームヘルパー（居宅介護・重度訪問介護）及び訪問入浴サービス

…障害者が自立した生活を送れるようにするため、自宅での介護等を行う。

事業の結果

■ **（福祉計画）サービス利用者数（人/月）**

区分	R2	R3	R4	R5
居宅介護	462	486	—	—
重度訪問介護	28	28	—	—
訪問入浴サービス	32	32	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

居宅介護は支給決定者数の増加人数よりも利用実績の増加人数が多かった。それ以外のサービスは横ばい。サービスの形態上、利用者の身体に触れて支援を行うことになるため、感染症対策が重要になる。

【主な事業】ガイドヘルパー（移動支援・同行援護・行動援護）による支援

…移動・外出に必要な支援を実施することにより、地域における自立生活と社会参加を促進する。

事業の結果

■ **（福祉計画）サービス利用者数（人/月）**

区分	R2	R3	R4	R5
移動支援	287	254	—	—
同行援護	72	74	—	—
行動援護	11	11	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：△

移動支援は支給決定者数は増加しているが、利用実績は減少。外出控えの影響が考えられる。それ以外のサービスは横ばい。感染症対策に留意しながら、地域における自立生活及び社会参加の促進が課題。

【主な事業】福祉タクシー料金助成事業

…タクシー乗車に際し初乗料金分を助成することにより、外出時の負担軽減を図る。

事業の結果

■ **福祉タクシー助成券発行人数（人/年）**

R2	R3	R4	R5
2,675	2,875	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

対象者数は増加傾向にあるが、利用実績は横ばい。コロナ禍の外出控えにより、利用実績が減少している。その他制度とも調整しながら、外出時の負担軽減が必要。

【主な事業】日中活動系サービス（生活介護・療養介護・自立訓練）の提供

…障害の特性に応じ、多様な日中活動系のサービスを提供する。

事業の結果

■ **（福祉計画）サービス利用者数（人/月）**

区分	R2	R3	R4	R5
生活介護	619	643	—	—
療養介護	28	28	—	—
自立訓練(機能訓練)	0	0	—	—
自立訓練(生活訓練)	10	19	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

概ね計画どおりの実績となっている。生活介護については年々支給決定者が増加傾向のため、利用者の通所先の確保が必要である。

【主な事業】 柏市防災福祉K-Net

…避難支援が必要な方を、平時から地域の方に知ってもらおうとともに、災害が発生した際に、地域の方の協力により安否確認や避難支援をしてもらう。

実施の結果

■ 避難行動要支援者名簿受領町会数（町会）

R2	R3	R4	R5
257	257	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

コロナ禍のため自治会活動が停滞していることから、実績値に伸びは見られないが、名簿交換は継続しており、新型コロナウイルス感染症収束に伴い、指標の増加も期待できる。

【主な事業】 ヘルプマーク・ヘルプカードの配布

…外見からは分かりにくい障害をお持ちの方等が援助や配慮を得やすくするための「ヘルプカード」及び「ヘルプマーク」を配布する。

事業の結果

■（福祉計画）配布数（枚・個）

区分	R2	R3	R4	R5
ヘルプカード	755	678	—	—
ヘルプマーク	1,475	815	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

上半期時点の比較で昨年度を上回る実績。市内での配布箇所は多いが、コロナ禍で外出困難な方に郵送していることを周知する必要がある。

【主な事業】 感染防護用の物資の備蓄

…感染症拡大防止のため、障害者や事業者の感染防護に必要な衛生資材を備蓄。

評価等

◆評価：○ 市内障害者施設でクラスターは発生していない。引き続き、感染症拡大防止のため、障害者やサービス事業者の感染防護に必要な衛生資材を備蓄を進めていく。

【主な事業】 「福祉のまちづくり」基準の適合指導

…千葉県福祉のまちづくり条例に基づく届出書の受理にあたり、届出者等に対して整備項目基準をより多く満たすように促す。

評価等

◆評価：○ R3年度上半期の指導書発行割合は60%（発行9件/申請15件）と、R2実績の88.1%から減少している。引き続き、千葉県福祉のまちづくり条例の整備項目基準をより多く満たしていくように指導していく。

- ・拠点を核として、他の地域資源とも連携したネットワークを構築するため、各会議体で検討を行った。各会議体の役割を整理し、効果的・効率的な検討を進める。
- ・サービスの提供にあたってはコロナ禍における影響も見られたが、概ね計画どおりできている。新たな生活様式に対応したサービスの提供、利用促進が課題。
- ・安心・安全な生活環境を整備するための各施策もコロナ禍における影響は見られる。感染症拡大防止のための施策を講じながら、緊急時対応のための準備を進めていくことが必要。

柱3 みんながその人らしく社会参加できる共生のまちづくり

障害者の就労や社会参加を推進するための支援強化や拠点の整備，共生意識の醸成により，誰もがその人らしく生き生きと社会参加できる共生のまちづくりを目指します。

施策1

取組1 就労支援体制の充実

就労支援の強化

重点

目指す姿 就労支援機関や雇用関連機関等との連携による障害者雇用の促進

【主な事業】 障害者就労・生活支援センター等との連携による就労相談事業

…障害者就業・生活支援センター等で実施する就労相談や就職活動支援を通じて，障害者の働きたいというニーズに応える。

事業の結果

■ 障害者就業・生活支援センター登録者数(人)

R2	R3	R4	R5
887	961	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

就労希望の障害者及び在職中の障害者が増加。障害者が長く，安定して就労できる環境づくりを進めることが必要であり，そのために企業における理解促進に向けた取組が課題。

施策2

取組1 多様な社会参加・交流の場の拡充

目指す姿

- ・さまざまな方が社会参加できる機会を創出
- ・障害者団体の自主的な活動支援や居場所づくり

【主な事業】 障害者等社会参加・就労支援事業

…障害者等の個々の状態や適性に応じた就労支援及び社会参加ができるよう，自立訓練等を実施する。

評価等

◆評価：○ R3上半期時点で実利用者は50人と，年間計画値をやや上回るペースで推移。他の支援機関と比較して複合的な課題を抱えている方が多く，社会参加や就労に至るまでに時間を要する対象者が多いため，支援スキルの高い支援者が求められる。現在，市の一般財源で事業を運用しているが，より安定的な運用のために財源の安定運用が必要。

【主な事業】 障害者等社会参加コーディネート事業

…障害者の居場所づくりや工賃向上を通じ，障害者等が社会参加できる機会を創出。

評価等

◆評価：○ 障害者等を対象した講座を2回，主に支援者等を対象とした研修会を3回開催。ひきこもりなどコミュニケーションの苦手な方の支援は難しいため，対面だけではない新たな支援方法の検討が今後の課題。

【主な事業】 福祉喫茶コーナーの運営

…障害理解促進及び障害者の就労の場を確保するために，教育福祉会館内で障害者が働くカフェを運営する。

評価等

◆評価：△ 認知度の向上に伴い，少しずつ利用者数は伸びているが，コロナ禍のため，障害者はバックヤードでの作業が主となっており，障害者と交流の場としての役割をどう果たしていくかが今後の課題。

【主な事業】 障害者活動センター運営事業

…障害者団体の自主的な活動や障害者等の状況に応じたゆるやかな居場所づくりを進める。

評価等

◆評価：△ 障害者団体使用件数は伸びているものの，コロナ禍の影響もあり，稼働率はそこまで高くない状況。今後はコロナ禍における配慮をしながら，障害者の居場所づくりにつながるようなサロン等の実施を検討する。

重点

拠点機能の整備による社会参加活動・交流事業の推進

施策3

目指す姿 障害への理解を深めるための啓発・交流，福祉教育の充実により共生意識を醸成

【主な事業】 障害理解・啓発イベントの実施

…障害理解を促進するイベントを実施するとともに，関係団体等の行うイベントを積極的に後援する。

事業の結果

■ (福祉計画) 障害理解イベントの実施(有無)

R2	R3	R4	R5
無	実施予定	—	—

事業の方向性：拡大（実施したい）

結果の評価・課題

◆評価：－

令和3年12月の障害者週間にあわせ，障害理解・啓発イベントを実施予定。コロナ禍でも効果的に共生意識の醸成を図るイベントの計画・運営の仕方を検討していく必要がある。

【主な事業】 障害者支援ボランティア養成講座の開催

…講座を通じて障害があってもなくても分け隔てなく接することができる人を増やす。

評価等

◆評価：○ 計画に基づき，年1回講座を実施。R3の講座受講者数は11名。受講後に団体に所属するなど，受講者のボランティア活動に結びつけていくことが今後の課題となっている。

柱3の評価と課題

- ・就職希望もしくは在職中の障害者は増加している。引き続き，障害者が安定して就労できる環境づくりが必要。
- ・拠点として整備した教育福祉会館における各施策は，コロナ禍における影響が見られる。本来目的とした役割をコロナ禍においてどのように達成していくか，検討が必要。
- ・啓発イベント等はコロナ禍においても実施できる方法で，効果的に実施していく。

柱4 みんなが健やかに成長できる共生のまちづくり

ライフステージに応じた切れ目のない支援と課題となっている医療・ケア体制の充実を図り、誰もが健やかに安心して成長できる共生のまちづくりを目指します。

施策1

目指す姿 障害の早期発見から健やかな成長のための療育支援の充実

【主な事業】 幼児健康診査

…健康診査の場から支援の必要な母子を早期に発見し、適切な支援につなげる。

事業の結果

■ 幼児健康診査受診率 (%)

区分	R2	R3	R4	R5
1歳6か月児	92.8	92.6	—	—
3歳児	93.5	86.8	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

幼児健診時に全数面談を実施し、早期発見に努めている。今後は、幼児健診受診率向上及び面談内容の充実が課題。

【主な事業】 児童発達支援・医療型児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援の充実

…官民の療育機関への通所、又は訪問によりさまざまな発達の遅れに合わせた支援を提供し心身の発達を促す。

事業の結果

■ (福祉計画) サービス利用者数 (人/月)

区分	R2	R3	R4	R5
児童発達支援	409	388	—	—
医療型児童発達支援	16	19	—	—
居宅訪問型児童発達支援	0	0	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：△

複数の事業所を利用する児童が多くなっているため、児童発達支援連絡会の中で、各事業所と連携を図り情報の共有や意見交換を実施。今後は、多様化したニーズに対応できるよう、各事業所の職員のスキルアップが必要。

【主な事業】 ライフサポートファイルの活用促進

…途切れなく適切な支援が受けられるよう、サポートファイルの普及と活用の促進に取り組む。

評価等

◆評価：△

自立支援協議会こども部会において、事業所向けにアンケートを実施。サポートファイルの必要性の評価は得られたが、普及は一部の事業所に留まっている。今後は、アンケートの結果を踏まえ、普及と活用に向けた取組を推進。

【主な事業】 保育所等訪問支援事業

…保育園や幼稚園等を訪問し、集団生活に適應できるよう支援を行う。また、訪問先の職員、保護者への助言等を行う。

事業の結果

■ (福祉計画) 保育所等訪問支援 (人/月)

R2	R3	R4	R5
34	39	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

◆評価：○

保育園や幼稚園等に在籍する障害児や発達につまづきのある子どもが増加しており、保育園や幼稚園等からのニーズが増加。多様化したニーズに対応できるよう、各事業所の職員のスキルアップが必要。また、訪問支援実施方法を統一するために、ガイドラインの作成が必要。

乳幼児期における支援の充実

施策2

学齢期における支援の充実

目指す姿 インクルーシブ教育の更なる充実

【主な事業】「多様な学びの場」と支援の充実

…障害のある児童生徒が、自立していくプロセスや社会参加の方法について、適切な支援や指導の下で学ぶことができる環境を整備する。

評価等

- ◆評価：○ 就学前児への就学相談の充実，在学生への各校での校内就学相談の充実により，適切な就学の場を提供できるようになっている。今後は，増加する特別支援学級担任の専門性の向上や，各校における「交流及び共同学習」のあり方の理解・啓発を図る。

【主な事業】障害に配慮した教育環境の整備

…小中学校の既存施設について，障害のある児童生徒が利用しやすいよう整備を行う。

評価等

- ◆評価：○ 多目的トイレ設置工事を実施した学校数は計画どおり推移。校舎棟のトイレ改修事業については，計画どおり令和5年度までの完了を目指す。屋内運動場における多目的トイレ設置については，柏市立学校施設個別施設計画に基づく長寿命化改良工事等と併せて進める。

【主な事業】特別支援教育に関する研修

…児童生徒一人一人のニーズや特性に応じた教育の充実に向け，研修を実施する。

評価等

- ◆評価：○ R3は28回実施。各校からの要請を含め，一定のニーズが見られる。今後は研修で終わることなく，研修した内容を実行可能にするよう，各校に出向く巡回相談を併用し，専門性の向上を目指す。

【主な事業】放課後等デイサービス・地域生活支援事業の充実

…通所により，障害児が生活能力向上のために必要な訓練を行うとともに，社会との交流を促進する。

事業の結果

■（福祉計画）

放課後等デイサービス利用者数（人/月）

R2	R3	R4	R5
717	810	—	—

事業の方向性：拡大（増加させたい）

結果の評価・課題

- ◆評価：○

概ね福祉計画に定めた見込量（R3見込量811人/月）のとおり，利用者数が増加している。

施策3

医療・ケア体制の充実

取組1 医療的ケア等の支援体制の充実

目指す姿 医療的ケアを必要とする障害児者や重度の肢体不自由児者とその家族が，地域で安心して暮らせる支援体制を構築

【主な事業】柏市障害児等医療的ケア支援連絡会の開催

…医療的ケアの支援の現場等からの意見や課題を抽出し，対応を検討する。また，必要に応じてワーキングを実施する。

評価等

- ◆評価：○ 昨年度から計画していた実数調査を実施。課題に優先順位をつけ，課題ごとにワーキンググループを設置した。今後は実数調査の結果を踏まえながら，各課題の検討を行う。
R3年度課題：①医ケアコーディネーターの人材育成について，②インクルーシブ教育について，③卒業後の地域生活について

【主な事業】喀痰吸引等の特定行為ができるホームヘルパーの育成

評価等

- ◆評価：○ 柏市内の特定事業所への研修の委託制度から，喀痰吸引等研修受講料等の一部を交付する補助制度を創設。補助制度を利用して，登録喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者）数の増加を目指す。

重点

目指す姿 長期入院中の精神障害者の地域移行・地域定着を支援体制を構築

【主な事業】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進会議の開催

…精神障害者が地域の一員として、安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育が包括的に確保された地域包括ケアシステムを構築し、関係機関との連携による重層的な支援体制を構築。

評価等

◆評価：○ R3から実施主体が千葉県から柏市に事業移行。昨年度の事業を継続する形で運用し、実務者会議で柏市の地域の課題を抽出し具体的な取組を検討。ほぼ予定どおりに事業を進行できた。実施主体移行に伴い、さらに受託事業所との連携を密にし、より柏市の実情に合った事業を展開し、地域共生社会の実現に向けた取組を目指す。

【主な事業】 専門職による精神保健福祉に関する相談支援

…市民・家族・関係機関等から専門職（精神保健福祉士・保健師）による精神保健福祉に関する相談に応じ、関係機関と連携した支援を実施している。

評価等

◆評価：○ R3上半期時点での電話や面接、訪問による相談件数は、電話が3370件、面接が272件、訪問が272件と概ね例年どおりの件数となっている。

【主な事業】 地域移行支援・地域定着支援の利用促進

…精神障害者の地域移行や地域定着を支えるため、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを実施。

事業の結果

■（福祉計画 R3～の指標）

サービス利用者のうち精神障害者の人数（人/月）

区分	R2	R3	R4	R5
地域移行支援		6	—	—
地域定着支援		1	—	—

事業の方向性：維持（現状規模のまま）

結果の評価・課題

◆評価：○

柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議（実務者会議）において、地域移行の課題の一つとして協議を重ねている。今後は引き続き精神科病院や指定相談支援事業所に対して、制度の利用を促していく。

- ・ 障害の早期発見に努めているが、適切な支援を提供する体制の構築や、切れ目のない支援に向けたライフサポートファイルの普及・活用促進に課題がある。
- ・ インクルーシブ教育の構築や放課後等支援の充実については、概ね計画どおりに実施されている。いずれも個々のニーズに応じた対応や支援が求められるため、専門性の向上を図る必要がある。
- ・ 医療的ケアを必要とする障害児者や精神障害者が地域で安心して暮らせるよう、各会議体を活用しながら支援体制の構築に努めた。柏市の実情や課題に応じた事業展開に向けて検討を進める。